

【水の持つ姿】

福岡県 春日市立春日野中学校 三年

橋之口 真穂

一人でぼーっとしているとき、色々なことを考える。お風呂に入っていると、ふと「水って不思議。」と思った。水は、透明で綺麗。でもたくさん集まると重たくて、少しでも隙間があると流れていってしまう。温かくもなるし、冷たくもなる。そんな「水」に興味を持った。

生活をしていて、水を使わない日は生まれてから一日もなかったように思う。きつと多くの人もそうだろう。それだけ人間にとって大切な「水」だが、今まで水がどんなものかなんて、考えたことがなかった。一体水はどんな姿をしているのか。水について調べたり、今までの生活を振り返ってみたりして、水には色々な姿があると感じた。

①美しい姿 透明な水は流れる、貯まる、反射することなどによって、美しい風景をうみ、人々に感動を与える。また、安らぎを与える。勉強するときもそうだ。私は、家では雨の音や波の音などの水の音を聴きながら勉強している。なぜなら水の音を聴いていると、リラククスできたり、集中できたりするなどの、良い効果が得られるからだ。私は、心や感情に良い影響をもたらす水の姿がとても美しいと感じる。

②きれいな姿とそうでない姿 この「きれいな姿」は、美しいという意味とは少し違う。安心して飲んだり、料理に使ったりすることができるほど、水質が良いという意味だ。私達日本人は、水道からでるきれいで安全な水を毎日使うことができる。しかし、調べてみると水道設備が整備されていないことなどから、きれいで安全な水を使用できない人は世界で四人に一人もいることを知った。世界では「きれいな姿」が当たり前ではないのだ。この問題は、きれいな水を使うことができている私達には関係のない話ではない。同じ未来を担う世界中の人達が、健康で毎日を過ごすために、とても大切なことなのだ。だから、国連はSDGs 17の目標の一つ、「安全な水とトイレを世界

中に」を掲げている。「きれいな姿」の水が世界中で使えるように、少しでも募金などの支援活動に協力したいと思った。世界のどこに住んでいても、誰もがきれいで安全な水が使えるようになってほしい。

③恐ろしい姿 水は、時に津波や洪水などの水害となって人々を襲い、命を奪う。最近、異常気象で大雨が降ることが多く、毎年のように大雨特別警報が出されている。大雨が降るとき、いつも私の家のすぐ側を流れている川は大丈夫だろうかと心配になる。幸い、私はまだ大きな水害に遭ったことはない。しかし、ニュースで住宅が浸水していたり、川が増水して今にも溢れそうになったりしている様子を見ると、他人事だとは思えない。倒木など沢山のものを巻き込んで流れている水は茶色く、濁っているため、テレビ越しでも恐怖を感じる。自分はもちろんの時に防災や減災に繋がる行動が何かできるだろうか。知識をもっと増やし、周りの人や大切な人の命を守る行動のとれる人になりたい。

水に興味を持ち、調べてみると、自分が意識していたより水は色々な姿で私達の生活に深く関わっていた。水は、毎日身近にある私達にとって当たり前のものになっている。そのため、美しい姿やきれいな姿でなくなったとき、私達はそれがたみに気づく。しかし、そうなるからでは遅い。水は有限。人口が世界で増加しているため、これから今以上に水が大切な存在になる。それと同時に地球温暖化が進むと、水は人々の命を脅かす危険な存在にもなる。私達はそんな水とうまく付き合っていかなければならない。水の持つ姿を調べてそう感じた。水の惑星ともいわれる地球とそこに住む私達の未来を守るために、自分にできることは何なのか。真剣に考え、自分の答えを見つけていきたい。